

「芥川」予習プリント

「このプリントを参考にして、ノートに記した本文に傍線注釈をすること。」

( ) は現代語訳を自分で調べて考える部分です。  
 ≪ ≫ はそこに省略されている語を補って現代語訳を考える部分です。  
 下段の【 】内の文法事項も黒板に記すこと。  
 下段のページ番号は**もみじ文法書**のページです。それを参考に訳すこと。

- ① ( )。
- ② 女 ( ) 手に入れる ( ) そうにない ( ) を、何年にも渡って ( ) が、
- ③ ≪ は ≫ ( )、( ) ≪ 夜に逃げて ≫ ( )。
- ④ ( ) ≪ のほつりを女を ≫ ( ) 行ったところ、
- ⑤ ( ) に降りていた露を ≪ は見て ≫、( )。( ) と ( )。
- ⑥ ≪ 逃げるべき ≫ ( )、( )、≪ は ≫ ( )、
- ⑦ ( )、( )、
- ⑧ ≪ は ≫ 荒れてがらんとした蔵に、( )、男は、( )。
- ⑨ ≪ は ≫ 早く夜も明けて ( ) と思いながら ( ) と、鬼は、( ) ≪ を ≫ 一口で ( )。
- ⑩ ≪ は ≫ 「ああっ」と ( )、( ) ≪ 音 ≫ のため、≪ は ≫ ( )。
- ⑪ ( ) も明けてゆくと、≪ が ≫ ( )、連れてきた女も ( )。
- ⑫ ≪ は ≫ ( )、( )。
- ⑬ 「真珠ですか？ ( ) ？」と ≪ あ の ≫ 人 ( ) 「露です。」と答えて消え ( )。

- ② 「の」P82の4  
「え」P118  
経【活用形】
- ③ 来【活用形】
- ④ 率【活用の行・種類】
- ⑤ 「なむ」【結びの説  
明】P102
- ⑥ 「多く」【品詞・活  
用形】
- ⑦ 「むく」P96  
「いみじう」【品詞  
・活用形】
- ⑧ 「あばらなる」【品  
詞・活用形】  
「をり」【活用の行  
・種類】
- ⑨ 「明け」【活用形】  
「なむ」P155の3
- ⑩ 「え」P118
- ⑪ 「見れ」【活用形】  
「は」P90
- ⑫ 「泣け」【活用形】  
「ども」P90  
「かひなし」【活用  
の種類】
- ⑬ 「まし」P62

- 問一、「伊勢物語」のジャンルは？
- 問二、「からうじて盗み出でて」とあるが、盗み出したときは女はどうだったと想像できるか？ a 抵抗した。 b 協力した。 c 知らない間に連れ出された。
- 問三、どうして女は「露」がわからなかったのか？ (この女はどういう身分か？)
- 問四、⑨ どうして「はや夜もあけなむ」と思ったのか？
- 問五、⑬ どうして「消えなましものを」と思ったのか？